

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	文化芸術の振興と発信		課(室)名	文化財課
	施策	文化財の保存・活用		電話番号	087-839-2660
	基本事業	文化財の調査、整備、管理		事業実施主体	市
	事務事業	史跡天然記念物屋島保存・整備事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

屋島は、地形上の特徴である「メサ」の標識として、また古代山城屋嶋城、唐僧鑑真創建と伝えられる屋島寺、源平合戦の古戦場の文化財が存在することから、昭和9年11月10日に国の「史跡天然記念物」に指定されている。このため本市は文化財の保護法の規定により、史跡・天然記念物の管理団体指定されており、文化財である屋島の保存整備に努める義務がある。また、文化庁・県教育委員会からの指導のもと、現状変更の許可を行っている。しかし、屋島の保存整備に努めるには、屋島の城門を調査していることから平成7年度より埋蔵文化財の確認調査を実施し、北嶺千間堂跡や、古代山城屋嶋城の城門を確認し、平成15年度からは調査対象を屋嶋城に絞って確認調査を継続している。平成26年度から北嶺山上地区においても調査を実施している。

29年度 屋嶋城跡浦生地区及び北嶺山上地区の発掘調査  
 概要 屋嶋城跡浦生地区城壁レーザー図化

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型
--------	------	----------	----	---------


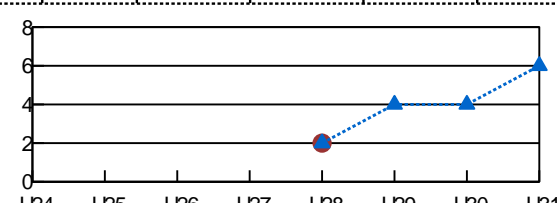
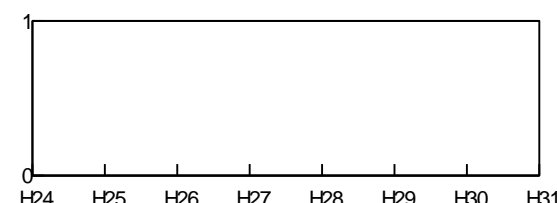
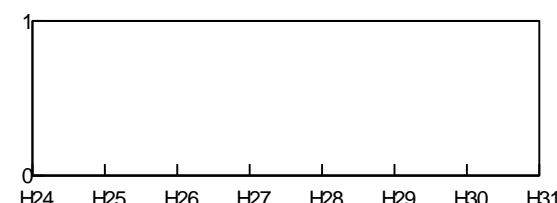
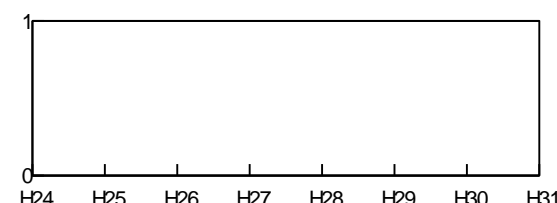
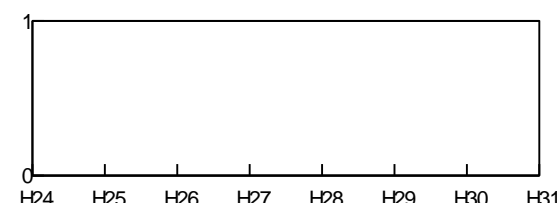
【事業の目的】

対象(何を)	文化財としての屋島
意図(どのような状態にしたいか)	(1) 屋島の史跡等の詳細を把握し、文化財的価値を高める。 (2) 文化財である屋島の保存整備を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
確認調査件数(累積)	件			2	4	4

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	確認調査によって内容の詳細が判明した件数(累積)	件	目標値			2	4	4
	実績値				2			
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 確認調査を目標どおり実施し、内容の詳細を把握することができた。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
	成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)
	成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H26	H27	H28	H29
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度(決算)	平成 27年度(決算)	平成 28年度(決算)	平成 29年度(予算)
トータルコスト	[円]	13,221	13,079	8,325	12,768
(事業費)	[円]	11,007	10,776	5,970	4,917
(職員人件費)	[円]	2,214	2,303	2,355	7,851

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

限られた予算の中で計画的に継続して発掘調査を実施している。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

今後も限られた予算の中で計画的に継続して発掘調査を実施する必要がある。